

愛知民報

2018年  
3月18日  
第2390号

発行所 愛知民報社  
〒460-0007 名古屋市中区新栄三丁目 12 番 25 号  
愛知あかつき会館内  
☎(052)251-2925 FAX(052)261-6063  
定価 月 400 円 郵送料 164 円 1 部 100 円  
毎週日曜日発行 (第 5 日曜日は休刊)  
1966 年 7 月 31 日第三種郵便物認可

週刊  
愛知民報を  
周りの人に

森友疑惑徹底説明、安倍内閣の総辞職、消費税増税反対を訴えながら行進する中小業者ら。13日、名古屋市中区。



出た! 安倍

学校法人「森友学園」への国有地売却をめぐる決裁文書改ざん問題で財務省は12日、改ざんをおこなっていたことを認めました。改ざんで削除した部分には、安倍首相や妻の昭恵氏、複数の政治家の名前、本件の特殊性などの記述がありました。同省が会計検査院に改ざん後の決裁文書を提出していたことも判明。安倍政権が組織ぐるみで改ざん、隠ぺいに関わっていた疑いが濃厚になりました。国民と国会を欺いてきた安倍内閣の総辞職を求める声が愛知県内でも高まっています。

森友公文書改ざん 真相徹底究明を



日本共産党愛知県委員会は、森友疑惑の真相究明、公文書改ざん糾弾、安倍内閣の総辞職を求める宣伝に連日取り組んでいます。10日、名古屋市中区の宣伝では本村伸子衆院議員、すやま初美参院愛知選挙区予定候補が演説(写真)。両氏は、「一政府が国権の最高機関である国会を欺くことは許されません。佐川元理財局長と安倍首相の妻・昭恵氏の証人喚問を実現し、真相を語らせましょう。疑惑の徹底説明をおこなうべきです」と述べ、安倍内閣を総辞職に追い込むために全力をあげる決意を表明しました。

佐川、昭恵両氏を喚問せよ  
日本共産党愛知県委員会が宣伝

国民あざむく 国家的犯罪

安倍自公政権による消費税10%への増税反対、森友疑惑の徹底説明、税務行政の民主化を求める重税反対全国統一行動が13日を中心に県内29カ所であり、集会・デモ、税務署への申し入れがおこなわれました。

いずれの会場でも、財務省による決裁文書改ざんに対する大きな怒りの声が上がリ、安倍内閣退陣を求める集会になりました。

愛商連の服部守延会長は、「佐川宣寿前国税庁長官の辞任を求める声が全国の国税局前で上がり、辞任に追い込んだ。今度は安倍内閣を総辞職させる。官僚の責任だけで済ませない」と述べ、政治家による不正利得を許さない運動を広げること呼びかけました。

一宮市の集会には、日本共産党の、すやま初美参院愛知選挙区予定候補が参加。「文書改ざんは国家的犯罪。安倍政権の悪政阻止へ市民と野党の共闘を広げましょう」とあいさつしました。小牧市の集会には島津幸広前衆院議員が駆けつけました。



渡辺まい子  
北名古屋市議候補



かとう敏彦  
愛西市議候補



坂ゆかり  
東海市議候補



かわぶち康宏  
北名古屋市議候補



まの和久  
愛西市議候補



近藤みほこ  
東海市議候補



加藤みつのり  
清須市議候補



河合かつぺい  
愛西市議候補

「共産党の躍進・勝利で、安倍政権にきびしい審判を。くらし・福祉優先の市政を」

森友文書改ざんなど安倍政権に国民の不信と怒りが拡大するなか、3、4月の東海市、東海市政は、消費税、所得税、市県民税、固定資産税など重税感にあえぐ庶民をよそに、民間ホテルが進出する用地に市費9億円余を投入。進出した事業者

東海市議は、消費税、所得税、市県民税、固定資産税など重税感にあえぐ庶民をよそに、民間ホテルが進出する用地に市費9億円余を投入。進出した事業者

共産躍進で政権審判  
4市議選 日本を動かす政治戦に

愛西市、北名古屋市、清須市の市議選が注目されています。日本共産党は「日本を動かそう」として攻勢をかけています。

他方、政権与党の自民、公明は守勢に回っています。

■東海市議選

東海市議選(定数22)は18日告示、25日投票です。日本共産党の坂ゆかり(現)と辻井タカ子市議の後継の近藤みほこ(新)両氏が「市民がつくった豊かな財政力を市民のために使おう」と語り、宣伝・支持拡大・党勢拡大に全力をあげています。

東海市議は、消費税、所得税、市県民税、固定資産税など重税感にあえぐ庶民をよそに、民間ホテルが進出する用地に市費9億円余を投入。進出した事業者

4月8日告示、15日投票で3つの市議選がおこなわれます。

■3市議選

愛西市議選(定数18・2減)で日本共産党はかとう敏彦、まの和久、河合かつぺいの現職3人を擁立します。

北名古屋市議選(定数21)では渡辺まい子(現)、現職の大原久直議員の後継として、かわぶち康宏(新)の両氏を擁立。現有2議席の確保をめざします。

清須市議選(定数22)では現職の加藤みつのり氏が再選をめざします。

共産党議員団は市内に立地する鉄鋼大企業から発生する降下ばいじんの規制を一貫して主張。環境と健康を守る市政の実現を訴えています。